

【目的】「農」と「エネルギー」をテーマに 地域と学生の交流の場を創出する

私たちCUC100ワイン・プロジェクトは、学内にぶどう畑をつくり、ソーラーシェアリングを活用してぶどうを育てることを核として、農業の未来や自然との共存、エネルギー資源について、その活動を通して考えようという団体です。

この春、ソーラーシェアリング施設が完成したのを機に市川市の親子や地元の方々と「農」と「エネルギー」の将来を考え、お子さんには「土」と遊ぶといった交流の場の創出に向けて取り組みを開始、さつまいもの栽培を行いました。



■千葉商科大学大木戸ソーラー発電所とは

千葉商科大学は、持続可能な社会づくりに貢献するため大学所有のメガソーラー発電所等の発電量と大学の消費エネルギー量を同量とする「自然エネルギー100%大学」の達成に、国内の大学で初の試みとして挑戦しています。大木戸ソーラー発電所は、その一翼を担うべく2024年3月に竣工、敷地面積3,996㎡、発電量は約112千kwh/年(一般住戸にして約30戸分)の規模で、発電した全量をコーポレートPPAという方式で大学へ送電しています。

さらに、ソーラーパネル下で農業を継続しながら発電を行うという新しい農業の形に取り組んでいます。



【取組内容・結果】これまで開催した地域交流イベント

〇5/25 「さつまいも植え付け体験」イベント

さつまいも(紅はるか)の苗植えを、市川市の親子の皆さんや地元の方々など約60名で行いました。植付け後、お子さんには、自分で名前を書いたプレートをお願いし、達成感と収穫への期待を…。お昼休憩には、じゃんけん大会を行い、学生と参加されたの皆さんとの交流を楽しみました。



〇7/28 「夕涼み会」を開催

畑の草取り作業を、市川市の親子の皆さんほか約70名で行い、小さい子も頑張って汗を流しました。終了後、近くのさくらキャンプ場においてBBQや花火、ビンゴ大会などで盛り上がりしました。



〇10/26 「さつまいも収穫体験会」を実施

いよいよ待望の収穫です。市川市の親子の皆さんなど約90名で、さつまいも掘りにチャレンジ。大きいのや形の変なものなど、たくさん収穫しました。作業終了後、お子さんが掘ったさつまいもの重量や長さを競うコンテストを実施、第1位は重さ1.8kg、長さは46.5cmでした。

■これまで3回の行事に参加された親子の皆さんは、合計で29組、84名となりました。



【今後のビジョン】

収穫したさつまいもは、11/3・4に開催される大学祭で袋詰めや一口サイズのドーナツツに加工して販売しました。また、同窓生への通信販売や市川市ごちそうマルシェへの出店、その他の販売活動を展開することとしています。加えて、さつまいもを活用したスイーツなど地域の企業と連携した商品開発にも取り組み、地域コミュニティ拡大の「資源」としても活用していきたいです。

来年以降も、さらなるコミュニティの創造と自然と共に生きるありがたさについて学ぶ場を大木戸ソーラー発電所において展開していきたいと思っています。

